

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	人事課	氏名	山田 和正
派遣先 団体名	朝日公民館		
<p>① 研修の日時</p> <p>平成30年8月18日(土)・・・あさひ祭り 平成30年10月26日(金)、27日(土)、28日(日)・・・朝日文化祭</p> <p>② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)</p> <p>◆あさひまつり</p> <p>8:00～13:00 会場となる松江3中のグラウンド準備 ・テント設営、机・いすの配置、ステージ設営補助</p> <p>14:00～16:30 出店の準備 ・ヨーヨー釣りの準備</p> <p>17:00～20:00 あさひまつり運営補助 ・ヨーヨー釣りコーナーの店番、ステージ進行の補助</p> <p>20:00～22:00 片付け ・テント解体、机・椅子片付け</p> <p>◆朝日文化祭(※松江市からの派遣職員と共同参加)</p> <p>(10/26(金))</p> <p>8:30～12:00 展示場設営、作品展示 13:00～17:15 会場(展示場以外)準備、小道具作成</p> <p>(10/27(土))</p> <p>8:30～12:00 案内看板作成 13:00～15:00 出店運営補助(展示場、健康相談、喫茶) 15:00～15:30 フルート、バイオリン演奏会場準備(その後聴衆として参加) 15:30～16:00 館長講話、意見交換(※後述) 16:00～17:15 翌日準備</p> <p>(10/28(日))</p> <p>7:30～10:00 会場準備(テント設営、机・椅子並べ) 10:00～10:30 オープニング参加 10:30～11:30 出店運営補助(石焼き芋、餅つき) 12:30～13:30 ドミノ倒しイベントの進行 13:30～15:00 出店運営補助(缶バッジ作成、餅つき) 15:00～16:00 片付け(テント解体、机・椅子運び、館内掃除)</p>			

※館長講話・意見交換の概要

1 朝日地区の概要

朝日地区は松江の中心、駅ができてから発展した新しい街。そのため寺も神社もない。歴史が浅いので土地のしがらみが強くなく、そのあたりが自治会加入率の低さにも現れている。買い物や移動が便利なので、老人が独居でも暮らせる。

2 朝日公民館について

来年移転25周年を迎える。

① 利用者について

駐車場も潤沢で松江市の中心にあるため、便利が良いという声をよく聞く。松江市の会合での利用も多い。土日も使える。ただ、他の公民館と比べて部屋が狭い、数も少ないといった声もあるが・・・。

② 公民館職員について

館長と職員は採用が違う。館長は松江市教育委員会、職員は松江市公民館運営協議会。館長1人、主任1人、主事2人の体制でやっている。全員が社会教育主事の有資格者。職員は市内の公民館の間で異動がある。

3 外から見た公民館の様子(地域との関わり)

何をしているのかわかりにくいとの声があるので、もっとPRが必要だと考えている。運営は町内会費が投入されている。いろいろな事務局を持っている(社会福祉協議会、体育協会等)

4 この職場派遣研修での体験の活かし方

今後、是非公民館活動に参加して欲しい。

5 その他

公民館は住民の想いに寄り添うことが一番。市や県は、規定に縛られなかなか難しいかもしれないが住民の目線を是非意識して仕事をしてもらいたい。

最近地域活動が消極化している理由としては、子供達が忙しくなったことがあると思う。昔は部活動だったものが今ではクラブになり、その他にも塾や習い事をたくさんしている。

③ 研修の感想

(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)

夏祭りと文化祭という公民館の2大行事に運営の補助という形で参加させてもらい、公民館の役割や公民館職員の仕事内容について知ることができました。

また、文化祭の運営では、一つのイベント(ドミノ倒し)の企画と運営を松江市から派遣の2名と協力し、完全に研修生だけで実施するという機会を与えられました。限られた時間と環境の中でどうすればより参加者に楽しんでもらえるかを考え、それを形にしていく作業は普段の業務の中では中々味わえない貴重な経験となりました。

1 公民館の役割

地域で暮らす住民同士の繋がり希薄化が問題視されている昨今ですが、住民同士の活動の拠点として公民館はやはり重要な存在だと感じました。

例えば、今回参加させてもらったような地域のお祭り(イベント)を開催しようとした場合、準備から運営の全てを住民だけで賄うには限界があります。それぞれ本業を持っており、そこにかかりきりにはなれないためです。また、場所をどうするかといった問題も出てきます。そこに公民館という場所を提供し、公民館職員が準備・運営の下支えやサポートをすることで住民の負担が減り、参加しやすくなり、また内容も充実したものになっていくのだと感じました。

2 いきいきと活動する高齢者たち

祭り全体を通じて印象に残っているのは、いきいきと活動する高齢者の方々の姿でした。男性陣はテントの設営から音響設備の設置などの会場設営を担当し、女性陣は来場者へ振る舞う料理作りなどをしておられました。祭りが始まったあとも出店やブースの中に入って来場者への対応を行うなど常に活動的でした。よく「仕事を退職した後の男性が生きがいを失って・・・。」といった問題を耳にしますが、こうやって地域と関わりを持ち、地域活動の中に居場所を持っていれば退職後も孤独に悩むようなことはないのだろうと思います。

3 研修前後における意識の変化

私自身、松江市の出身であり、小学校を卒業する頃までは住んでいた地域の公民館行事にも積極的に参加していました。しかし、中学校に入学した頃から地域行事とは疎遠になってしまい、今回実に20数年ぶりに公民館行事に参加することとなりました。

同じ夏祭りや文化祭でも、子供として参加するのと大人として参加するのでは大違いで、子供の頃には見えなかったものが色々と見えました。夏祭りや文化祭が行われるに当たってはこんなにも多くの大人達が関わり、汗をかいているということは子供の頃にはわからないことでした。

その点について改めて知ることができましたので、これからは現在住んでいる地域の公民館活動にも参加してみようと思います。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

- ・基本的に作業のマンパワーとしての役割がほとんどだったのですが、それだと職員の方の指示がなければ何も動けないため、職員の方が自分の業務で手が離せない場合等には研修生が時間を持て余す状況が多くありました。
- ・今回、試みということで文化祭において「一つのコーナーの企画・運営を研修生に全て任せる」ということをしていただきましたが、これであれば職員の方の指示がなくとも研修生だけでもある程度主体的に動くことができ(アイデア出し、進行の立案・検討、必要な小道具作成等)、職員の方の負担も、研修生が持て余す時間も減るように思いました。

(注1) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2) 報告書は、平成31年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。